

市長  
発

# しおかぜ通信

## 謹賀新年

笠岡市長 高木直矢

輝かしい新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様方には、心新たに希望に満ちた平成17年をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、平素から市政の推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、多数の有権者の皆様方の信任を賜り、笠岡市政の重責を担う二期目のスタートとなる区切りの年でありました。

私は、一期目の4年間を「21世紀の笠岡」という個性を生かした、大輪の花を未来に咲かせるための「土づくり」と考え、行財政改革の推進と、役所という古い体質・前例踏襲の打破、職員の意識改革に努め、信頼される市役所づくりに全力で取り組んでまいりました。

そして、二期目の4年間は、「土づくり」から新しい笠岡の「夢づくり」に向かった「種まき」の時代に入ります。

具体的な取り組みといたしましては、まず第一に「笑顔で暮らせる笠岡」の実現のために、医療・福祉・教育行政などの充実を図ります。

福祉先進都市に恥じない、高齢者・障害者福祉、地域福祉の更なる充実強化、豊かな人間性を育てる教育行政の推進、少子化対策としての子育て支援、環境基本計画に基づく環境行政の推進などを確実に取り組んでまいりたいと考えています。

第二は「夢溢れる笠岡」の実現であります。

それは、市民の夢、長年の願いである、笠岡湾干拓地の多目的有効活用の着手と土地利用計画に基づいた市街化区域と調整区域の線引きの見直し作業であります。干拓地は、農業を守り発展させながら共栄する新たな活用策の具体化を図り、線引きの見直しでは、地域単位の調和と活力に満ちた地域づくりを盛り込んだ土地利用計画に基づき、具体化の作業に入ります。

第三は「揺るぎない笠岡」の実現であります。

これは、最重要課題として一期目から取り組んでいる行財政改革の着実な実行と、「打てば響く、行動する市役所」として、巡回市長室・さわやかサロン・ホットメールなどを引き続き実施し、積極的に情報公開に取り組みます。

また、昨年は、連続して大型台風に見舞われ、各地で大変な被害を受けました。こうした教訓から防災計画の見直しと、災害に強い施設整備といったハード面の計画を実行いたします。

このように、本年も“強くてぬくもりの感じられるやさしい笠岡”を行政の合言葉とし、市民の皆様と心を一つにして“種まき”に徹すれば、笠岡の明るい展望は必ず開けると信じています。

年頭にあたり、市民皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げますとともに、さらなる変革と前進する市政運営に今後一層のご支援、ご協力ならびに市政への参画をお願い申し上げ、新年のごあいさつといたします。



今年の干支 酉  
惣津章雄さん(有田)作